

情報センターとしての役割を果たすための 学校図書館の計画的・効果的利用

鹿児島県 与論町立与論中学校

基本データ

| | |
|--------|---------------------|
| 所在地 | 大島郡与論町朝戸 1134 番地 |
| 児童生徒数 | 136 人 |
| 教職員数 | 19 人 |
| 蔵書数 | 9,012 冊 |
| 年間貸出冊数 | 5,681 冊 |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】情報活用能力の育成、情報機器の活用、授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 学校図書館を学習情報の収集の場として捉え、「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、思考・判断の材料となる適切な学習情報のための環境整備に取り組んでいる

取組・活動の概要

(1) 情報端末機 6 台の設置



令和元年度新たに設置した情報機器端末



情報機器端末を活用した学習の様子

(2) 全教科における年間指導計画への学校図書館利用計画の挿入

(3) 授業改善・教材作成のための教師用資料の配架

(4) 各教科で活用するための分類別図書リストの作成

(5) 地域に関する新聞記事の掲示と整理・保管

(6) 与論町立図書館との連携

取組・活動の工夫や特徴

- 情報センターとしての役割を果たす学校図書館への変容を図るためには、全教科等の授業において計画的・効果的に利用できる体制をつくる必要がある。そこで次のように取り組んできた。
- 学校図書館を情報センターとしての活用を図るための職員研修。
- 授業に必要な資料・図書の選定を全職員で実施。
- 各教科等での学校図書館（学習情報センター）の活用の検討。
- 学校図書館掲示板の工夫。

取組・活動の成果や今後の展望

- 当該取組は本年度から本格的に始めたものであり、現段階でようやく各教科の年間指導計画を見直し、情報端末機を設置できたところである。
- 教師の学校図書館活用への意識は高まり、各教科での図書館利活用の可能性が広がってきていると判断している。
- 今後は生徒の言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための一方策として学校図書館の計画的・効果的利用に努めたい。